

「平成31年度に実施した仕事」の振り返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 2 年 7 月 1 日

事業名称		財産管理事務費〔寄附受諾事務〕									
予算科目	款 2	総務費	項 1	総務管理費	目 6	財産管理費	事業番号	3			
事業の種別	<input checked="" type="checkbox"/> 市単独 <input type="checkbox"/> 補助対象 <input type="checkbox"/> 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)										
担当部署・課長名	総務管財		課 用地管財			係	課長名	岩本 尚史			
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。							施策番号	行 - 1			
【施策名】 適正な財産運営							総合計画書 (ページ)	119			
この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。			① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)							
	寄附(現金及び物品)の申込み →			①寄附申込件数(現金) ②寄附申込件数(物品)							
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に] 確実に処理される。 →			② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標) 申込件数/受諾件数×100							
③ そのために何をしましたか。			③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)								
①寄附の申込を受ける。 ②寄附受諾を決定し、寄附を受領する。 ③寄附者に礼状等を送り、市ホームページに寄附者名簿を掲載する。 →			①寄附受諾件数(現金) ②寄附受諾件数(物品)								
指標の推移			単位	過去2年間の実績		当該年度	成果目標				
				平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度実績	令和2年度目標	令和3年度目標			
	対象指標	①の数値	件	154	224	297					
	成果指標	②の数値	%	100.0	100.0	100.0					
	目 標	②の目標値	%	100	100	100					
		目標値設定の考え方									
		活動指標	③の数値	件	5,535,622	10,045,575	20,867,750				
3 経費	事業費(実績)		円	0	0	0	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外)年間単価は、8,310,000円 時間単価は、4,300円 で計算してください。 【算出根拠】平成30年度決算数値。(退職手当組合負担金、共済費も含む。)				
	財源	一般財源	円	0	0	0					
		特定財源	円	0	0	0					
		(うち受益者負担)	円	0	0	0					
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	0.3	0.5	0.5					
		所要人数(再任用)	人	0.0	0.0	0.0					
		職員人件費(再任用以外)	円	2,638,080	4,122,000	4,155,000					
職員人件費(再任用)		円	0	0	0						
事業費+人件費		円	2,638,080	4,122,000	4,155,000						
4 環境変化等	(1) 開始年度	不明 年度									
	(2) 環境の変化	ふるさと納税制度の拡充により、市場規模が拡大し、年々注目が高まっている。当市では平成28年度から、旧日立航空機株式会社変電所の保存等の指定寄附の開始、一般寄附の用途の選択枝の増加、返礼品の設定等、ふるさと納税制度の活用を図っている。 また、平成31年度から、取り扱うふるさと納税ポータルサイトを増やし、寄附受入を拡充した。									

事業名称	財産管理事務費〔寄附受託事務〕			
担当部署・課長名	総務管財	課	用地管財	係 課長名 岩本 尚史

5 市民等の意見	この仕事に関して、平成31年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について 寄附金受入方法の拡充。	
6 市民協働	(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。（複数回答可）	
	<input type="checkbox"/> 取り組んだ <input checked="" type="checkbox"/> 取り組まない	取組手法： 【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）
	(2)令和2年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点	
7 課題	(1)平成31年度に課題とした内容（「平成30年度に実施した仕事」の振り返りシート7課題（3）を転記） 今後、ポータルサイトを増やして寄附額の増を図っていく方針が示されている。媒体や件数が増えた場合、現体制では対応しきれない事態も想定される。	
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、平成31年度に実施したこと。 ポータルサイトが増え、寄附額の増加が著しかった。ふるさと納税の管理業者が運用している管理媒体の検討等行なった。	
	(3)(2)を踏まえた今後の課題（仕事の最適化・合理化の提案） ふるさと納税が注目され、当市の返礼品も増加した。今後も寄附額が増加することが見込まれるため、適切な事務の管理を検討する	
	8 施策貢献状況（この仕事は、総合計画（基本計画）に掲げる課題の解決手段になっているか。） 施策名： 適正な財産運営 <input checked="" type="checkbox"/> なっている <input type="checkbox"/> 環境の変化等により成果が減少している <input type="checkbox"/> 類似の事業が他にあり改善の余地がある（事業名： ）	
	(1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など） <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 【取組内容】 ふるさと納税は全国で注目されている。返礼品等の増加や、ポータルサイトの活用により、寄附金の受入の幅を拡大する	
9 今後の方向性	(2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等 予算調整や人員配置、寄附の受託状況によっては専門部署の設置等を含め、調整していく必要がある。	